

■ 大手カジュアル専門店の動向 (1)

※敬称略、順不同
2017.10.現在

【1】 コックス

最近決算年商	210億円
同営業利益	△1.6億円
(次期予想) 18年2月	
売上	220億円
営業利益	19億円
店舗数	255店舗 2017年2月

不採算店閉鎖による減収、減益も
今後3年間で41店開店を構想、増収、増益を狙う

業態「イッカラウンジ」(低廉価格高感性トータルカジュアル)は好調、坪効率向上でこの部分で営業利益+5.4億達成。

eコマースは楽天サイトなど充実、昨対20%増、売上約16億円
全店舗の内約60%超がイオン系ショッピングモール内、同グループの集客力に左右される実態。

【2】 ジーンズメイト

最近決算年商	93億円
同営業利益	△6.6億円
(次期予想) 18年2月	
	未発表
店舗数	91店舗 2017年2月

17年2月からRIZAP社(ジム経営)の子会社(約66%)
となり企業イメージ(ロゴ、店装など)の刷新に入る

「ジーンズカルチャーを創る」が新しいキャッチフレーズ
24時間営業店舗は効率化、人員問題から順次削減へ
生え抜き新社長富澤茂氏への期待高まる

17年2月の通期は売上昨対98.8%だが客数は102.8と微増
●PBは「ブルースタANDARD」、「イノセントブルー」など3ブランド

【3】 マックハウス

最近決算年商	337.3億円
同営業利益	6.2億円
(次期予想) 18年2月	
売上	329億円
営業利益	7.8億円
店舗数	433店舗 2017年2月

「暮らしに必要な実需商品の拡大」の方針を明確化

インナー衣料、レグ関連、ルームウェアなどを拡充
商品の価格適正化と接客スキルの向上に努力

大型店「マックハウス・スーパーストア」と「マックハウス・スーパーストア・フューチャー」が効果発揮中

新PB生活雑貨「ZooMAC」、アート絵柄シャツ「Mac-Museum」
ボトムス売上メンズ67億、レディース40億計107億(全社比31.8%)

【4】 ライトオン

最近決算年商	864億円
同営業利益	37.3億円
直近半期決算	428億円
(17年2月 昨対92%)	
(次期予想) 17年8月	
売上	810億
営業利益	△20億
店舗数	496店舗 2017年2月

16年8月決算は増収増益も、17年は急転悪化、赤字予想

16年後半、17年前半は不振、持越し在庫増(回転数5回から4回代へ)

商品の陳腐化による来客数の減少懸念

業態「チャイム」、業態「フラッシュレポート」を効率化のため全面撤退(28店)、また他業態を含め50店を17年度中に撤退予定
退店による赤字も次期以降で挽回へ

【5】 ファーストリテイリング (海外含む)

(全世界ベース2016年8月)	
年商	1兆7,86億円
同営業利益	1,272億円
(その内国内ユニクロ)	
年商	7,998億円
営業利益	1,024億円
国内店舗数	832店 2017年2月

17年8月決算は5月までの三四半期累計で売上昨対+1.2%

17年秋冬は改良型防寒「ウルトラウォーム」ヒートテック期待

来期海外含む全事業 売上1兆8,500億円は達成圏内

来期国内ユニクロは約8,160億円(2%増)を予想するが、在庫見切り損などで利益は減少か

国内ユニクロの部門別比率

メンズ41.2%、レディース49.0%、子供7.0%、その他2.8%

■ 大手カジュアル専門店の動向（2）

※敬称略、順不同

【6】しまむら

最近決算年商	5,655円
同営業利益	488億円
(次期予想) 18年2月	
売上	6,300億円
営業利益	567億円
店舗数	2,066店舗
	2017年2月

国内中心に3,000店舗への拡大をねらう

さらに国内市場の深耕ねらう、店舗数はユニクロの2倍以上

主要業態売上（17年2月）

しまむら（中高年婦人）	4,785億円	1,388店
アベイル（若年婦人）	575億円	316店
バースデイ（幼児）	545億円	268店
シャンブル（雑貨）	117億円	101店

●海外店舗の台湾（42店）、上海（11店）は慎重操業

【7】ハニーズ

最近決算年商	545億円
同営業利益	23億円
18年5月予想	
売上	480億円
営業利益	35億円
店舗数	861店舗（国内）
	海外店舗含むと1,264店舗
	2017年5月

国内は既存店健闘、テーブル什器の効果もあり増収、しかし単価ダウンで利益減、中国店は赤字継続

特に中国は毎年100店前後の撤退を断行予定

中国市場の苦戦は郊外型SCの乱立競合が主原因、売値ダウンも効果なし

全体の約80%（560億）を占める国内売上の効率化を努力

ミャンマーの自営工場は拡大、比率5～6割に

【8】パル

最近決算年商	1,165億円
同営業利益	62億円
(次期予想) 18年2月	
売上	1,238億円
営業利益	80億円
店舗数	923店舗
	2017年2月

売上昨対は衣料98.7%（851億）、雑貨11.2%（312億）

この内 eコマース（アマゾンなど）は70億の規模に（全社の6%）衣料では型数絞り込み、在庫コントロールに成功

雑貨「スリーコインズ」の評価もあり株価急騰一時30%値上がり「ナイスクラップ」に資本参加して15年、売上95億で安定化

きめ細かいMD力、人材育成で2018年1,500億円射程に。

【9】パレモ

最近決算年商	247億円
同営業利益	6.3億円
(次期計画) 18年2月	
売上	224億円
営業利益	7億円
店舗数	495店舗
	2017年2月

ついに当期純利益も黒字化（3.2億）達成

不採算店舗の撤退、在庫コントロール行動が結果

アパレル164億（66.4%）、雑貨76億（30.6%）

ライフスタイル雑貨業態「木糸土」などもさらに店舗数調整。「直接仕入貿易」体制は確立。

【10】アダストリアHD（ポイント）

最近決算年商	2,037億円
同営業利益	149億円
(次期予想) 18年2月	
売上	2,330億円
営業利益	150億円
店舗数	1,351店舗
	2017年2月

微増収も見切り処分等で粗利率減少、営業利益減少

主要業態別売上

グローバルワーク	383億
ニコアンド	247億
ローリーズファーム	247億
スタジオクリップ	222億

など全社でのメンズ比率は15%

今後は海外（現在108店）の本格出店、eコマース拡大がテーマ
eコマースは現状291億、自社WEB会員560万人、さらに拡大へ